

団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	株式会社 堂森組		
代表者	吉川 義勝	担当者	森 純一
所在地	〒603-8115 京都市北区紫竹下本町19-1 TEL:075-491-6712 FAX:075-491-6455 E-mail:doumorig@skyblue.ocn.ne.jp		
設立の経緯 ／沿革	昭和25年6月に株式会社堂森組を設立 資本金120万円 本店を北区紫竹に砂利採取プラントを北区柊野に 昭和33年に滋賀県安曇川に砂利採取プラントを 資本金480万円に増資 昭和58年に資本金1500万円に増資 平成15年に資本金5000万円に増資 平成18年京都府の『☆エコ京都21』登録事業所に認定		
団体の目的 ／事業概要	主に建築骨材の販売事業をしており、環境省関係（京都御苑）や自治体関係（学校・公園）などに骨材の納品、他に土木工事と上下水道工事などの事業をしており ます。 また、冬期には京都市北部の久多地域の除雪作業を30年間現在もやらせて頂いて います。		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	毎日の骨材運搬や納品などに使用するトラックに低空大気浄化装置を取り付け、京都市内を走行しており、去年一年間で一台のトラックが約13000立方メートルの大気内の粒子状物質（PM・SPM・花粉・黄砂・タイヤゴム粉塵）などを捕集及び燃焼無害化しました。 下左の写真は装置を取り付けたトラックと二ヶ月間走行したフィルターの汚れであり、一目瞭然と確認できます。  		
ホームページ			
設立年月	昭和25年6月12日	*認証年月日（法人団体のみ） 年 月 日	
資本金/基本財産 (企業・財団)	五千万円	活動事業費/ 売上高 (H17)	二億五千万円
組 織	スタッフ/社員 10 名 (内 専従 名) 個人会員 名 法人会員 名 その他会員（賛助会員等） 名		

政策のテーマ

低空大気（呼吸帯）浄化と健康被害抑制

■政策の分野

- ・③地球環境問題への対応（持続可能な開発）
- ・⑤空気・水・土の保全（公害対策）
- ・⑧社会経済のグリーン化
- ・⑩環境パートナーシップ

■政策の手段

- ・①法律及び国際条約の制定・改正または司法的解決

団体名：株式会社 堂森組

担当者名： 森 純一

■キーワード

行動意思なく
大気汚染対策行動意思なく
呼吸帯浄化強請される事な
く環境蘇生活動呼吸器疾患・花
粉症・健康対策四日市・東京大
気汚染公害訴訟

① 政策の目的

地球温暖化・環境破壊・健康被害など現在の大気環境を半世紀前の大気に戻し安全で澄み良い環境に変革。

② 背景および現状の問題点

現在の大気環境の悪化で大気汚染による温暖化・健康被害など地球規模での緊急課題である現在でも、私の知る限り、各国、各自治体、各企業などは汚染物質の固定発生源や移動発生源の排出抑制対策のことだけを考えるだけで、今までに、またこれからも排出され浮遊する粒子状物質（PM・SPM・花粉・黄砂・タイヤゴム粉塵）などを回収する対策はとられておらず、河川などに流入され自然消滅を待つのが現状であり、今現在、室内ではなく、外の低空大気中を浮遊している粒子を効率よく効果的に回収する装置は、どの企業もまだ開発に至っていません、またこれからも大気中を浮遊する粒子状物質は、人間が住み自動車が走行する限り半永久的になくならず、浮遊また拡散をし続けます。

また、これから花粉や黄砂など多くが浮遊する季節になりますが、その粒子を効果的に回収する発想はなく、花粉症や呼吸器疾患など、毎年多くの人々が被害に苦しんでいるのが現状であります。

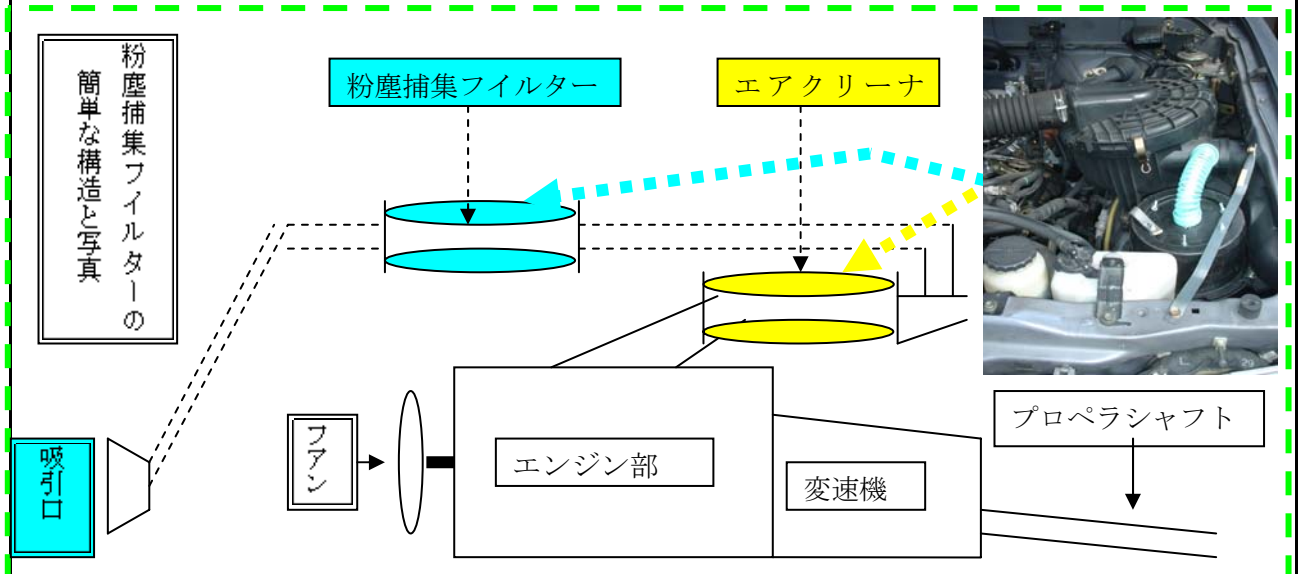
③ 政策の概要

地球温暖化の原因である温室効果ガス（CO₂）排出量の削減目標を設定し、国や各企業、個人が削減目標達成の為、いろいろな取り組みや行動を実施するよう求められている時、自社トラックに粉塵を捕集する簡単な部品を取り付けているため、渋滞や信号待ち時における前方の自動車の排気ガスを積極的に吸引し、また走行中、道路から巻き上がり拡散しようとする浮遊粒子を広範囲にわたり行動意思なく捕集及び拡散を防止する。

※ 自動車の前方に動力のいらない家庭用掃除機の吸引口が付いていると理解してもらえば

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

実施方法は自社のトラック 3 台に簡単な粉塵捕集が取り付けられている為、毎日の走行と同時に運転する者全員が行動意思なく、地球環境蘇生活動に参加する仕組みになっています。



※ エアクリーナー清浄効率 乾式… 99.9% 湿式… 98.3%

※ 吸引ダクト直径 3 cm ～ 4 cm

※ 圧縮比 15 のエンジンでは、燃焼温度が 600 度以上の高温になる為、吸引された大気中のウイルスや花粉、また黄砂などに附着している有害物質などを燃焼無害化できます。

※ この装置は法律上及び自動車構造上に何の問題も発生しない事を確認済みであります。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

まず、私の使用している一台のトラックの粉塵捕集効果を例にあげます。

一年間で19307キロメートルを走行し、低空大気（呼吸帯）13640立方メートル内の浮遊粒子を行動意思なく捕集、拡散を防止できました。

※ 吸引捕集量は、吸引ダクトの面積×走行距離＝立方メートル

※ 吸引力はエンジンの回転数に比例する

この安く容易に取り付けできる部品が、全ての自動車に対して適用されることにより、（政策の手段…①）地球規模で大気を浄化することができ、更に河川や湖に流入する雨水にも浮遊粒子状物質が取り除かれるので、健康被害、大気汚染、地球温暖化を大幅に改善することができる。

その他にも下段に書かれている数々の効果を発揮します

- ① ① 交通流対策…自動車排気ガスの環境基準達成の為に交差点の立体化や右折専用レーンの設置などの工事の必要性がなくなり、これにともなう道路環境計画にかかる莫大なコストとエネルギーが削減され結果的に大幅なCO₂排出削減につながります。
- ② ② 渋滞対策…たえず発生する集中的な渋滞に対しても、互いの車が行動意思なく自然に排気ガスや他の浮遊物質を吸引しあう為、大気汚染を誘発、拡大することはありません。
※ 車社会をより快適に過ごす為に、人間社会の相互助け合いの精神の活用、
- ③ ③ 健康被害対策…四日市公害や東京大気汚染訴訟で問題になった喘息症状など、その他、花粉やウイルスなどと現在問題になっている黄砂に附着している有害物質などを燃焼無害化する事ができ、健康に関連する被害に大きな効果を発揮します。
- ④ ④ 道路トンネル内の排気粒子（すす）などの汚れのメンテナンスや、排出設備機器の簡素化ができる為、コストが大きく削減できます。
- ⑤ その他にも、多くの効果を発揮しますが、この部品は自動車構造を改変することなく、安く容易に取り付けられ、取り付けたその時から大気浄化の結果がでます。

⑦ その他・特記事項

今後、粉塵捕集のフィルター部分で温室効果ガス（CO₂）や窒素酸化物（NO_x）などが分離・分解できるフィルターの開発が進むと大気環境が大きく改善され、また、この発想は潜在能力を高める開発部門の一つとして取組むことができます。